

## こどもの「いま」の気持ちを大切にしたい

### ～人生はなんとかなる～

「学校へ行けない」「教室に入りたがらない」というこどもが増えています。文部科学省の調査によれば、小中学校の不登校児童生徒数は約 30 万人で過去最多。しかもその数は氷山の一角だということも忘れてはいけません。「保健室登校」や「放課後だけ登校」など教室に入れないのに「不登校」としてカウントされない人もいます。こうした状態を「不登校傾向」と言いますが、不登校傾向の小中学生は推計 108 万人いるという調査もあります。

いまや誰もが不登校になる時代であり、どんな親でも一度ぐらいは「学校へ行きたくない」とこどもから相談を受ける時代です。しかし実際にわが子が不登校になれば「まさか」と焦るものです。かく言う私も約 30 年前、中学 2 年生の際に不登校になりました。当時は私も親も絶望的な気持ちになり落ち込みましたが、その後、フリースクールに出会い、中学 2 年生以来、1 日も学校へ行っていませんが、絶望的な気持はいついありません。その後、不登校についての取材を続けてきました。このコラムで実体験と取材した事例をお伝えできたらと思っています。

最後に一点だけ。ちょうど新学期を迎え、新しい局面を迎えたご家庭も多いかと思います。突然の行き渋りが始まったり、逆に行き始めてみたり。ぜひ信じてもらいたいのは、今日、どんなことが起きたとしても「人生はなんとかなる」ということです。どうか、こどもの「いま」の気持ちを大切にしてください。

(不登校ジャーナリスト・石井しこう)

#### 【参考資料】

- ・令和 4 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査／2023 年
- ・不登校傾向にあるこどもの実態調査／2018 年

次回のテーマは「学校生活」を予定しております。ご期待ください。